

排気・排水設備を更新

作業で
負担軽減

川島グループで貴金属やレアメタルのリサイクルを手掛けるアクロフィック（本社：愛知県小牧市、岡本邦秀社長）は、グローバルレベルのコンプライアンス順守の体制を構築するとともに、インナーブランディングの強化に努める。責任ある鉱物調達の国際基準「RMI」への登録や総額約1億円の「次世代環境プロジェクト」を推進。その一環として誰でも軽装で安全に働けるクリーンな職場環境を目指し、本社工場と東京工場で排ガス洗浄装置と排水処理施設を7年以内に更新する予定。

社内ブランドを強化

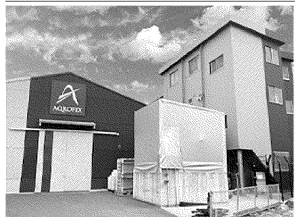
鉱物調達の国際基準登録

同社は1980年に創業し、スクラップからの貴金属・レアメタルの回収・精製事業を展開してきた。リサイクル処理能力は月間40トンで、貴金属の月間生産量は金が3・10



岡本社長

kg、銀が400・100kg、パラジウムなどが10kg。リサイクル拠点として本社工場と東京工場（東京都江戸



本社外観

川区、名古屋工場（名古屋市中区）を有する。二つの方針を定めた。

同社では長期にわたる地域社会や社員とその家族の支援に対して、感謝の気持ちを込めて「再生の喜び」を還元する方針を定めた。

その一環としてインナーブランディングと企業

の社会的責任（CSR）を推進するプロジェクトを開始する。

その一環として約2億円を投じて本社工場と

東京工場の、排ガス洗浄装置と排水処理施設を刷新。現場社員への

成分暴露や吸引を徹底的に防止する。これにより防護服の装着が不

要となり、安全靴と一般的なマスクの軽装で

現場作業ができる環境を実現する。

排水処理工程で発生するスラッジ（汚泥）

の脱水工程を自動化で制御できるシステムを導入し、近い将来に遠隔監視システムを追加導入する予定。これにより作業負担を大幅

軽減し、創出した時間を出荷前の検品や梱包など付加価値の高い業務にシフトする。

責任ある鉱物調達の国際基準である「RMI」への企業登録も行う。金の精錬を行う企

業として、人権尊重や紛争の資金源となる不正な原料を一切排除し、完全にクリーンな調達ルートが証明された金風のみを精錬する。これにより企業としての信用向上や社員が自社に誇りを持てるインナーブランディングの強化、川島グループのイメージ向上につながる。

岡本社長は「現場の環境改善や安全対策、最新設備への投資は最優先で実施し、社員が安心して健康を守っていただく」ことを目指す。

「スラップを何度でもリソースへ還す」という理念の下、全員が誇りを持って安全第1で前進していく」と力強く語った。